

江津市第3次学校整備再編基本計画の策定の背景

全国的に少子化が進行する中、本市においても児童生徒数の減少とともに、1校当たりの学級数も減少し、全体として小中学校の小規模化が進んでいる状況です。

本市では、平成21年3月に、「学校整備の在り方に関する基本方針」を策定し、学校の小規模化が進む中で、子どもたちに良好な教育環境を提供していくために、①複式学級の解消、②複式学級をつくらない、ことを基本方針として、学校の再編計画を進めていくこととしました。この基本方針に基づき平成21年12月に「学校整備再編基本計画」を策定し、当時複式学級であった松平小学校と有福温泉小学校を平成23年4月を目途に統合再編すること、跡市小学校については話し合いを継続していくことと定め、計画どおり当該2校は統合再編が実行されました。

さらに、少子化の一層の進行と財政的な背景もあり、平成23年3月に「第2次学校整備再編基本計画」を策定し、市内の小学校は、江津東小学校、桜江小学校、中部の小学校、西部の小学校の4校に集約することとし、中学校については当分の間、現在の4校を維持することとしました。この計画に基づいて、平成28年に跡市小学校を統合し、さらに、津宮小学校と川波小学校を統合する新統合校舎を建設しているところです。

これまでの統合再編により、本市では、平成28年以降、複式学級は生じておらず、安定的に学校経営がなされてきましたが、少子化傾向がより顕著となり、令和10年度には複式学級が生じる可能性が高くなった本市の状況では、計画に基づいて引き続き統合再編を進めていく必要があります。しかし、計画されている中部の小学校、また、生徒数の減少が顕著な中学校についても、統合の手法や今後の方向性を再検討する必要に迫られました。

これらの背景を踏まえ、中長期的な本市の人口推計の結果や社会経済情勢の変化に伴う地域住民や保護者の教育等に対する価値観の変化、義務教育学校等の新たな学校形態等を考慮して、「第3次学校整備再編基本計画」の策定を行うものです。